

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）【総括表】

◆基本方針別取組状況

【達成状況（自己評価）の目安】 ◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）
	項目数	達成状況		
1 誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	29	◎	0	高齢者）ふれあい・いきいきサロン、コミュニティカフェを実施。敬老会の開催。様々な工夫を凝らし地域の高齢者の仲間づくりや交流の場を提供。 子ども）ふれあい・子育てサロンの実施。小学生との交流事業（花植え）、お楽しみ会、風揚げ、昔あそび、折り紙教室、子ども食堂等、地域ぐるみの子育て支援に取り組む。インスタグラムでの子育てサロン動画の配信を行う。 その他）歩こう会、グラウンドゴルフ、ポッチャ等の運動イベントの開催。演奏会、講演会、芋煮会等の地域交流の催しを実施。介護支援・介護予防教室、福祉のつどい、料理教室、介護・障害者施設への訪問や交流を行う。健康体操、ラジオ体操等を通し健康づくりに取り組む。
		○	28	
		△	1	
		×	0	
2 あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう	11	◎	0	訪問、安心カード配付、広報紙による地域住民への啓蒙、理解促進等に取り組む。支えあい活動により、買物、付添、ゴミ出し等の支援を行う。高齢者等の見守り活動者や普及のための地域住民の説明会の実施。地区部会や町内自治会の広報や各種イベント等で福祉活動推進員やボランティアの募集、地域団体役員向けにボランティアン活動の事例紹介を行う。 【共通】民生委員の協力を依頼し、「安心カード」の配付状況を確認。新規者へのカード配布拡充を進める。併せて緊急通報システムの利用促進も依頼した。
		○	9	
		△	2	
		×	0	
3 備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	3	◎	0	地域自治会やボランティア活動により防犯パトロール、セーフティーウォッチャー等の見守り活動、人員確保のための登録の呼びかけ、チラシ回覧にて注意喚起を促す。防災マップ作成準備、町内自治会に対し自主防災組織設置の働きかけ、防災訓練、防災講習会、救急法講習等の開催、町内自治会と地区部会による災害時要支援者情報の共有化検討等に取り組む。地域での犯罪予防をテーマにした地域ケア会議を開催した。
		○	3	
		△	0	
		×	0	
4 必要な情報が行き渡り、気軽に相談しあえる仕組みをつくりましょう	6	◎	2	「ミニ福祉通信」等の各地区にて広報紙を発行。地域福祉に関する多様な情報提供を実施。ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを活用し地域の案内等の情報を配信。地域ケア会議を開催し地域課題の共有と意見交換を行う。サロン開催や広報誌作成時にあんしんケアセンターと連携し、相談窓口の設置や介護保険等の情報提供に取り組む。 【共通】オンライン会議の普及・啓発として、第2回推進協でZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。その他、二次元コードの活用等を実施した。
		○	4	
		△	0	
		×	0	
5 世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう	2	◎	0	ふれあい祭等を通した子供たちとのふれあい、小中学校の夏季及び冬季休業時に学校と地域との連携による工作教室や昔遊びの実施。高校、大学、地域住民並びに地区部会の連携によるふれあい・子育てサロン、各種講座を実施。広報誌を発行し、福祉教育に代わる啓発や福祉に関する地域への情報提供を行う。 【共通】各地区部会エリアの連携（好事例等の情報交換）として、第1回、2回の推進協にて地域の活動事例を発表する。第3回推進協では植草学園大学を会場に講演会を開催した。
		○	1	
		△	0	
		×	1	
今年度の振り返り	51	◎	2	重点取組項目については、第5期計画中間見直し時に各地区部会エリアで作成した年次計画表（令和6年度から令和8年度）を基に、概ね年度目標を達成した。若葉区共通の取組みに関しては、各地区部会エリアで取組項目としているが、今年度は推進協議会が中心となり取組みを進めた。
		○	45	
		△	3	
		×	1	

※重点取組項目以外（共通の取組み含む）は自己評価の集計はしていません。

今後の課題と方針	<p>・個々の取組のさらなる充実を目指して、地域住民への積極的な声掛けを行い、参加のきっかけづくりに努める。また、PR方法の見直しや、広報手段の工夫を行って、参加の促進を図っていく。</p> <p>・高齢化が進む地区部会等の各活動団体のスタッフの若返りや担い手の確保も喫緊の課題であり、地域へ積極的に出向く活動を通じて新たな人材の参加を促す。</p> <p>・活動団体同士の情報交換や交流を促進し、地域全体の連携強化と支援の質の向上を図っていく。定期的な事例紹介や意見交換の場を設けていく。</p>
----------	---

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	7月17日（水）	新委員及び新役員選任 令和6年度のスケジュール及び議事内容 事例紹介
第2回	11月21日（木）	オンライン活用した会議 令和5年度取組状況報告 事例紹介
第3回	2月20日（木）	講演会（テーマ：「きいてみよう『地域課題解決の“カギ”」）

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第29号	令和7年5月	180部（社協・老人クラブ・市民センター・公民館）。※自治会にはメールマガジンで配信

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

【小倉地区部会エリア】
・障害者作業施設ワークホーム「たけのこ」へのボランティア支援活動は定着しつつある。
・一方で、コロナ禍で中断した「散歩クラブ」、「食事サービス」などの再開は難しい。

【白井地区部会エリア】
エリアが広く、白井公民館での講習会やイベントに参加が困難な住民に対して、地域の自治会館等に出向いて、ポッチャ体験会を2回実施し、また認知症講座を2回開催した。

【更科地区部会エリア】
・「うつしの祭」と「敬老会」の融合については、生徒数の減少などの理由により、学校側で、「うつしの祭」実施計画を検討しているとのことであり、そこへ「敬老会」を持ち込むのは難しいと考え、今回は見送りとした。

【御成台、千城台西・北地区部会エリア】
・主にサロンなどで、介護予防のための「回想法」を取り入れ、昔の歌や映画の1シーンを振り返り、楽しく会話を楽しんでいる。

【26地区部会エリア】
・大宮台：猛暑の夏祭りに代わる行事として、10月にふれあい・支えあいのために、“おおみや秋まつり”を小学校体育館で開催。三つの和楽会が、それぞれ月2回自治会に集まり、ポッチャ、輪投げ、清掃、誕生会など定期的に交流の和を広げている。
・北大宮台：6月と11月、町内一斉清掃の実施
高齢化もあり「北大宮台をきれいにする会」による公園清掃活動は中止した。（令和7年度は、秋にふるさと祭りを計画中）
・ローズタウン：10月にふるさと祭りを令和5年から開催し、交流の輪を広げている。防犯活動として、青パトを導入し、令和6年4月から週3回のパトロールを実施。

【加曾利地区部会エリア】
・引き続き、担い手探しについて、事務局会議・常任委員会で検討しているが、思うように進まずにいる。現在担当している者が、平均で80才を超えているので、話し合いの中では、この先、依頼者に、市のボランティアセンターを紹介する等の方法を取りながら、活動を縮小する方向である。

【若葉区全体の統一した試み】
○好事例等の情報交換
推進協議会にて「大宮台地域コミュニティバス（おおみやバス）の運行開始」、「認知症カフェ『ルピナス』」の事例紹介を行った。

○講演会の開催
植草学園大学の大ホールを借用し、推進協議会、地域福祉活動者、学生、一般市民を対象に講演会を開催した。千葉大学関谷教授による基調講演「地域コミュニティ再生に何が必要か」を題し、地域活動者より「ほぼ毎日駄菓子屋」、「グリーンスローモビリティさくらまる」の事例紹介をおこなう。



若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票

【達成状況の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合
○: 年度目標が概ね達成できた場合
×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針												
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)															
坂月地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	④ 福祉施設や地域行事でのふれあ い交流活動の実施	・歩こう会、グラウンドゴルフ大会の実施。 ・アルパ(ハーブ)演奏会の実施。 ・坂月小学校児童との交流事業(花植え)の実施。 ※工夫しながら行事の実施に務める	・12/15(日)に坂月小グランドにおいて、グラウンドゴルフ 大会を開催し、27名の参加があった。 ・2/10(月)に坂月小学校児童との交流事業「花と心の 通う路」花植えを実施した。 ・2/18(火)に歩こう会及び小倉会館においてアルパ演 奏会を予定していたが、雨天により歩こう会は中止。アル パ演奏会は予定通り実施した。35名の参加があつた。	○	・歩こう会、グラウンドゴルフ大会の実施。 ・アルパ(ハーブ)演奏会の実施。 ・坂月小学校児童との交流事業(花植え)の実施。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開 ・新たな人材の社会福祉活動への参加 ・より多くの方が参加しやすい行事の工夫												
【人口・世帯数】																				
5,085人、2,350世帯																				
【町内自治会数】																				
5町内自治会	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配 布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法につ いて検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。													
【高齢化率】																				
20.6%																				
【地域の特徴】																				
自然豊かな環境でありながら、戸建住宅が 少しずつ増え、新住民も徐々に定着してく てきているエリア。一方で、多くの児童が隣接する 千城台西小学校へ通学しており、エリア内に ある坂月小学校に通う児童は少数派となっ ている。	備えあれば憂いなし、安 全と安心の仕組みをつくり ましょう	○	⑧ 防犯活動の実施	・学校セーフティウォッチャー事業への協力することと併 せて、人員を確保するため、登録の呼びかけを行う。	・学校セーフティウォッチャー事業に一年を通じて参加 協力し、児童の登下校の見守りを行った。	○	・学校セーフティウォッチャー事業への協力することと併 せて、人員を確保するため、登録の呼びかけを行う。													
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう									○	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・地域福祉に関する情報を発信するため、広報紙「あさ つゆ」の内容の拡充を図り、年2回発行する。	・広報紙「あさつゆ」を5月、9月、10月の年3回発行し、 情報の発信に努めた。	◎	・地域福祉に関する情報を発信するため、広報紙「あさ つゆ」の内容の拡充を図り、年2回発行する。						
															必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬 体験、意見交換を実施した。	△
								世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】												

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
貝塚地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくりましょう	※○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・ふれあいの仕組みづくりとして、いきいきサロンやボランティア講座等を通じて交流・居場所づくりの推進する。	・いきいきサロン「貝塚くらぶ」を4カ所、計5回実施した。 ・年間を通じて、ふれあいサロンを1カ所で実施した。	○	・引き続き、ふれあいの仕組みづくりとして、いきいきサロンやボランティア講座等を通じて交流・居場所づくりの推進する。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
6,510人、3,764世帯								
【町内自治会数】	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくりましょう	○	② 健康や介護を通じた関係づくり	・健康づくりのための健康セミナーや「100歳体操」(いきいきサロン時)を実施する。	・11/23(土)に芋煮会に合わせて健康セミナーを実施した。また、いきいきサロン時に体操を実施し、健康づくりに努めた。	○	・引き続き、健康づくりのための健康セミナーや「100歳体操」(いきいきサロン時)を実施する。	・地域の方へ声をかける努力をする。 ・いきいきサロン、ポッチャラブのPR方法の検討 ・サロン等を通じて今何が必要か、できることは何かを検討する機械を設ける。 令和7年5月より、年8回ポッチャクラブを実施する。
9町内自治会								
【高齢化率】								
22.0%	【地域の特徴】 旧家が残る歴史ある地域、造成された戸建住宅地、賃貸住宅エリアが混在する多彩な地域構成が特徴。古くからの住宅地では、親族間の助け合いや地域のつながりが今も強く、新しい住宅地では市外・区外からの転入住民が増加し住民構成は多様化している。高齢化が進む一方で若い世帯の流入も見られる。	○	③ 公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	・お楽しみ会(児童・未就学児対象)について、周知方法を検討し、実施する。	・児童・未就学児を対象としたお楽しみ会を、年2回実施した。	○	・引き続き、お楽しみ会(児童・未就学児対象)を実施する。	
誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくりましょう		※○	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	・芋煮会、敬老会、茶話会等について、参加者を増やすために、声かけすること併せて、高齢者の声を参考に内容を充実させる等、地域行事を通して、ふれあい交流活動を推進する。	・11/23(土)に芋煮会を実施した。また、敬老会を1地区で実施した。	○	・引き続き、芋煮会、敬老会などの行事を実施し、地域行事を通して、ふれあい交流活動を推進する。	
あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】		共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組みをつくりましょう		○	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・引き続き、貝塚地区部会だよりを年1回発行する。	・3/1に貝塚地区部会だよりを発行した。	○	・引き続き、貝塚地区部会だよりを年1回発行する。	
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組みをつくりましょう	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。	△	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。		
世代を超えて、ともに学び 合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携について考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。		

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
桜木地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・いきいきサロンを7か所で実施する。 ・子育てサロン引き続き実施。平均参加組数4組。	・いきいきサロン7か所で、延べ91回実施した。 ・子育てサロン「とけっこー」を8回実施した。	○	・いきいきサロンを7か所で実施する。 ・子育てサロン引き続き実施。平均参加組数4組。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
14,793人、7,688世帯								
【町内自治会数】								
20町内自治会								
【高齢化率】	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	② 健康や介護を通じた関係づくり	・参加自治会数平均9自治会。	・12/1(日)に桜木小学校グラウンドにおいて、各町内自治会の65才以上及び老人クラブを対象に、グラウンドゴルフ大会を開催。54名の参加があった。 ・2/15(土)に桜木小学校体育館において、各町内自治会の60才以上を対象に、ポッチャ大会を開催。45名の参加があった。	○	・参加自治会数平均10自治会。	
27.9%								
【地域の特徴】								
若葉区南部に位置し、古くから続く住宅地と、近年の転入世帯による新しい住宅地が混在し、多世代が暮らす地域構成が特徴。JR都賀駅や千葉都市モノレール桜木駅が利用できる、生活利便性は高い一方、複数の幹線道路が地域を分断しており、交通安全への配慮が求められる。高齢化が進む若葉区において、子育て世帯の転入が一定数あり、世代間交流の機会も広がっている。								
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組みをつくり ましょう								共通
【地域の特徴】	必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組みをつくり ましょう	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。	
								5 世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組みをつくり ましょう 【将来的な人材育成】
								共通
								⑬ 福祉を学び実践する
								・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。
小倉地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・「ふれあい・いきいきサロン」の内容充実及び参加人数の増加。 ・「ふれあい食事サービス」の再開の検討。	・「ふれあい・いきいきサロン」を小倉台中央自治会館において、年11回開催し、延べ139名の参加があった。 ・「おりがみ教室」をウェルシア薬局内ウェルカフェにおいて、年10回開催し、延べ80名の参加があった。	○	・引き続き、既存の事業を継続して実施することと合わせて、「ふれあい・いきいきサロン」と「ふれあい・子育てサロン」の合同開催について検討。 ・「ふれあい食事サービス」の再開の検討。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
14,071人、6,826世帯								
【町内自治会数】								
13町内自治会								
【高齢化率】	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	④ 福祉施設や地域行事でのふれあ い交流活動の実施	・「吹奏楽コンサート」や「介護講座」、「散歩クラブ」などの開催。施設等へのボランティア活動。	・12/5に、小倉台中央自治会館に於いて、「震災を語り継ぐ」をテーマに、糸日谷美奈子氏をお招きし、防災対策等について講演会を実施。29名の参加があった。 ・定期的に、障害者ワークホームを訪問し、支援を行った。	○	・「吹奏楽コンサート」や「介護講座」、「散歩クラブ」などの開催。施設等へのボランティア活動。	
26.5%								
【地域の特徴】								
小倉エリアは、約1,600世帯を擁する小倉台中央自治会(小倉台1丁目～7丁目)が地域の中心となっている。千葉都市モノレール小倉台駅を核に、南北には主に戸建住宅からなる閑静な住宅街が広がり、その中には一部市営・県営の集合住宅も点在する。幹線道路沿いには商店街が立地し、日常の買い物や飲食に便利な環境が整っている。古くからの住民が多く、自治会活動や地域行事が盛んである一方、近年は転入世帯も増え、コミュニティは多様化の傾向にある。								
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組みをつくり ましょう								共通
【地域の特徴】	必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組みをつくり ましょう	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。	
								5 世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組みをつくり ましょう 【将来的な人材育成】
								共通
								⑬ 福祉を学び実践する
								・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
白井地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	④ 福祉施設や地域行事でのふれあ い交流活動の実施	・敬老会、自治会でのポッチャ体験会の実施。 ・タオルでボランティアの実施。 ・地区内福祉法人との意見交換会の実施。 ・福祉法人の敬老会参加者の送迎の継続と買物支援など 新たな協力体制の検討。	・連協会議にてポッチャミニ体験会を、2自治会でポッ チャ体験会をそれぞれ実施。また、11/30(土)に白井公 民館講堂において、白井地区ポッチャ大会を開催。12 自治会、43名の参加があった。 ・タオルでボランティアを実施し、年間を通して1, 200枚 を収集。地区内の12施設に配布、情報交換と交流を図 ることができた。 ・高齢者福祉委員会メンバーのスキルアップと今後の活 動計画策定に資するため、介護老人福祉施設「中野 園」の見学会を実施。 ・障害者福祉委員会の障害者施設に対する理解を深め るため、障害者支援施設「若葉泉の里」の見学会を実 施。ポッチャや地域交流について意見交換を行った。 ・9/16(月:敬老の日)に4自治会を対象に、白井地区合 同敬老会を開催。参加者の送迎について、美香苑、第 2いずみ苑に協力いただいた。	○	・ポッチャ体験会交流会の実施(自治会対抗戦等)。 ・タオルでボランティアの実施。 ・地区内福祉法人との連携事業の実施。 ・福祉法人の敬老会参加者の送迎の継続と買物支援な ど新たな協力体制の検討。 ・モルック体験会の実施。 ・ボランティア研修講座の開催 ・地域ふれあいフェスタの開催。 ・白井地区合同敬老会の開催。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
6,214人、3,564世帯								
【町内自治会数】								
18町内自治会								
【高齢化率】								
47.8%								
【地域の特徴】								
対象エリアが非常に広く、西部・東部・中部 の3地域に分かれ、それぞれ異なる歴史や成 り立ちを持つ。西部は昔ながらの集落や農地 が残り高齢化が進む一方、東部・中部の新 興住宅地では30～40代の子育て世帯が増加 している。全体としては高齢化率が高く、長年 住み続ける定住世帯が多いのが特徴。	あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑤ 活動の中核となれる人材の発掘	・福祉活動推進員の増員(1名～2名)。 ・各自治会でのイベントに出向き人材の発掘を積極的 に行う。	・各地域に出向き認知症講座を2回、白井公民館にお いて、認知症サポーター養成講座を1回実施。人材の 発掘に努めた。 ・7/13(土)に白井公民館において、自治会長・役員・協 力者を対象に、地区内ボランティア団体の事例紹介を 実施。23名の参加があり、地域ボランティア活動への理 解を深めた。	○	・福祉活動推進員の増員(1名～2名)。 ・各自治会でのイベントに出向き人材の発掘を積極的 に行う。	当地区部会の担当エリアは非常に広いため、エリアの中 央に位置する白井公民館において開催する講習会やイベ ントへの参加者が少なく苦慮している。そこで、当地区部会 の重点目標を「地域へ積極的に出向いて福祉活動を推進 する」と定めて、できる限り地域へ出向いて活動を行って いる。
あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配 布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法につ いて検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。		
あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑦ 活動団体同士の連携・交流	・構成4団体との意見交換会を実施し、連携の推進を図 る。 ・地域ケア会議などにより、地域の困りごとの抽出を行 う ・資料の保管場所に選定した施設と保管方法について 協議し保管場所を確保する	・構成4団体との情報交換を積極的に行い、活動団体 同士の連携、交流を図った。 ・2/15(土)に白井公民館において、犯罪から地域を守 るためにをテーマに地域ケア会議を開催。防犯につい て理解・対策の検討を行った。 ・資料の保管場所について検討を行った。	○	・構成4団体との意見交換会を実施し、連携の推進を図 る。 ・抽出した地域の困りごと解消に向けた取り組みの実 施。 ・資料の保管場所に選定した施設と保管方法について 協議し保管場所を確保する。		
備えあれば憂いなし、安 3 全と安心の仕組みをつくり ましょう	○	⑨ 災害に備えた準備・体制づくり	・災害時に地区団体で対応すべき内容を協議する検討 会を開催し、連絡体制の確立を図る。 ・災害時のボランティア活動のあり方について協議。	・避難所で役立つ知識・技術の習得を目的に健康生活 支援講座を2回予定していたが、いずれも日程が合わ ず中止となった。 ・12/4(水)に白井公民館において、日赤25分団と共催 で、三角巾による傷・けがの手当を中心に救急法等講 習会を実施。30名の参加があった。	○	・災害時に地区団体で対応すべき内容を協議する検討 会を開催し、連絡体制の確立を図る。 ・災害時のボランティア活動についてのマニュアルを作 成		
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬 体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。		
世代を超えて、ともに学 5 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例 紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携につ いて考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。		

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
更科地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・引き続き、2つのサロン活動を継続する。 (1サロンは活動終了)	・活動を継続しているサロンは1サロンとなったが、9 回、延べ75名の参加があった。	△	・サロン活動を継続する。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
2,474人、1,388世帯								
【町内自治会数】								
12町内自治会								
【高齢化率】								
43.6%								
【地域の特徴】	対象範囲は広いものの、住民基本台帳に 基づく人口と世帯数は区内で最も少ない地域 である。多くの地域が農村地帯で、人の出入 りは少なく、長年住み続けている居住者も多い。 高齢化率は高いものの、現役で農業を営 む世帯が多く、体力的にも活動的な高齢者が 目立つ。	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配 布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法につ いて検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。	
あなたがわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 2 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】								
あなたがわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 2 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】								
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう								
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう								
5 世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組み をつくりましょう 【将来的な人材育成】								
			⑦ 活動団体同士の連携・交流	・「うつしの祭」と「敬老会」の同時開催。	・「うつしの祭」と「敬老会」の融合について検討を行った ものの、児童数が減少するなか、同時開催には至らな かった。	△	・更科中学校「焼きいも会」や「餅つき会」への協力 ・更科中学校区育成委員会のクリーン活動への協力 ・更科小学校アフタースクールと連携を考えたい。	
			⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・地区部会だよりを年2回発行する。	・7月と11月に地区部会だよりを発行し、地区部会活動 の周知と情報発信に努めた。	○	・地区部会だよりを年2回発行する。	
	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬 体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。		
	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例 紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携につい て考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。		

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
御成台、千城台西・北地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・引き続き、R5年度の活動(いきいきサロン(年20回超)子育てサロン(年6回)開催)を継続していく。また、ゲーム、スポーツ、ヨガ等を組み入れ、心身を活性化する。	・いきいきサロンを年20回、子育てサロンを年3回(11月は雨天中止)開催。また、夏・冬の年2回、子ども工作教室を千城台公民館との共催で開催。住民同士の交流を図った。	○	・引き続き、従前の活動(いきいきサロン(年20回超)子育てサロン(年6回)開催)を継続していく。また、参加者の範囲の拡大を検討(高齢者施設入居者の参加希望があれば、付添者がいることを前提に受け入れていきたい。)	<第5期計画における区共通の方向性> ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開 ・現在の役員体制は、非常によくまとまり、楽しく活動ができています。 ・一方で、下記問題がある。 ①担い手不足は永遠の課題。 ②活動場所の確保に危機感 活動場所の確保については、当地区部会近隣の千城台公民館が、2～3年後に千城台南地区に移転する。 さらに、千城台北地区にある千城台自治会館が、その存続について、千城台北の3自治会で議論となっており、余談を許さない状況。
【人口・世帯数】								
9,096人、4,726世帯								
【町内自治会数】								
17町内自治会	誰もが顔見知り、交流と ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	② 健康や介護を通じた関係づくり	・引き続きR5年度の活動(介護予防体操(千葉市いきいき体操、シニアリーダー体操、口腔体操など)を年12回、ふれあい散歩クラブ「ボールでウォーキング」を年15回、はつらつ健康体操を年3回)を継続して実施する。	・介護予防体操(千葉市いきいき体操、シニアリーダー体操、口腔体操など)を年12回、ふれあい散歩クラブ「ボールでウォーキング」を年14回、はつらつ健康体操を年2回実施した。	○	・引き続き従前の活動(介護予防体操(千葉市いきいき体操、シニアリーダー体操、口腔体操など)を年12回、ふれあい散歩クラブ「ボールでウォーキング」を年15回、はつらつ健康体操を年3回)を継続して実施する。また、参加者の範囲の拡大を検討(高齢者施設入居者の参加希望があれば、付添者がいることを前提に受け入れていきたい。)	
【高齢化率】								
39.4%								
【地域の特徴】								
千葉都市モノレール沿線を中心に、ショッピングセンターや計画的に整備された住宅地が広がるエリア。沿線沿いや周辺には、公共施設、医療機関、学校、公園などが多数配置され、日常生活の利便性は非常に高くなっている。子育て世帯も一定数存在する一方で、高齢化率が非常に高く、地域には定住の高齢世帯が多く見られる。	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕 組みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。	
	必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	○	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・年5回の広報紙発行は、十分な発行回数であるため引き続き、R5年度の活動を継続していく。	・社協だよりを年5回、各回2,300部を発行。14自治会全世帯及び各種関係団体に配布した。 ・運動による健康づくり・介護予防の情報を社協だよりに掲載し、併せて発信した。	○	・年5回の広報紙発行は、十分な発行回数であるため引き続き、従前の活動を継続していく。	
	必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。	
	世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携について考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
千城台東南・金親地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・ふれあいサロン憩、南を各月1回実施 ・こども食堂「縁」で週2回手伝い実施	・東町自治会館を借用し、ふれあいサロン憩を年間11回、「こども食堂 縁」を借用し、ふれあいサロン南を年間11回それぞれ実施した。 ・こども食堂「縁」で週2回、調理、配膳等の手伝いを実施した。	○	・ふれあいサロン憩、南を各月1回実施 ・こども食堂「縁」で週2回手伝い実施 * 認知症カフェをスタート、認知症の方及び認知症を抱える家族の方対象、毎月1回開催	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開 ・認知症カフェ:まだ地域への認知度が低く利用者が集まらない状況である、ポスターを公共機関に掲示してもらい、今後の利用者拡大を見込む。 <

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針																						
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)																									
若松地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・町内自治会単位でのサロンへ開催への協力を行う。 ・新規自治会実施。	・南部自治会でのサロン、地区部会主催サロンを実施した。また、ポッチャ大会を開催した。	○	・町内自治会単位でのサロンへ開催への協力を行う。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開																						
【人口・世帯数】																														
19,772人、9,790世帯																														
【町内自治会数】																														
13町内自治会																														
【高齢化率】																														
28.8%																														
【地域の特徴】 対象エリアが非常に広く、住民基本台帳に 基づく人口や高齢者数、世帯数が若葉区内 でも多い地域である。特に若松台2丁目と3 丁目では高齢化率が著しく高い状況である。 住宅は戸建てを中心に集合住宅も点在し、 多世代が暮らす住宅地が広がっている。																														
誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	③ 公園やサークル活動を利用した交 流機会の創出	・ふれあい散歩クラブの立ち上げ検討。	・ふれあいいきいきサロンへの開催協力及び主催サロ ンを実施。3/29(土)に予定していた「気軽に散歩の 会」は、雨天のため中止となった。	○	・ふれあいいきいきサロンへの開催協力及び主催サロ ンを実施。 ・「気軽にお散歩の会」の実施。																								
あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】							共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配 布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法につ いて検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。																		
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう													共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬 体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。												
世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】																			○	⑬ 福祉を学び実践する	・若松高校と協力し、子育てサロンを開催することで、生 徒たちと一緒に福祉などについて考える機会を持ってもら う。 ・若松高校と交渉。	・担当の先生が休暇中ということもあり、コロナ禍以降実 施に至っていない。	×	・若松高校と協力し、子育てサロンを開催することで、生 徒たちと一緒に福祉などについて考える機会を持ってもら う。 ・引き続き若松高校と交渉。						
世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】																									共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例 紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携につい て考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
加曽利地区部会エリア	あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑤ 活動の中核となれる人材の発掘	・事務局会議等において、「助け合いの会」の担い手確保について検討を行う。	・「たすけあいの会」の今後の活動について、常任会議、及び月二回の事務局会議において、検討を行った。	○	・引き続き、事務局会議等において、担い手について検討を行い、担い手の確保に務める。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
6,454人、3,298世帯								
【町内自治会数】	あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。	
8町内自治会								
【高齢化率】								
30.1%	【地域の特徴】 加曽利町1町のみからなるエリアで、区域内に小学校の設置はない。古くから農業を営む世帯が多く、戸建住宅が中心の落ち着いた地域。近年は、新たに造成された新興住宅地も見られ、伝統的な農村地域と新しい住宅地が共存している。人口は比較的少なく、高齢化率は若葉区の平均的な水準で推移。	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。	
	世代を超えて、ともに学び 5 合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携について考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針				
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)							
都賀地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と 1 ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・子育てサロン月例開催。 ・会場増設の可能性検討。 運営課題の検討・充実。	・子育てサロン「ひなた」(月例)を開催。地域内の保育 所・園3か所と連携。4/28(日)「出張！ひなたチャン ネル」を実施。フェイスブック、Instagram「ひなたチャ ンネル」を毎月更新(動画で投稿)。 ・いきいきサロン「体操・喫茶・懇談」は、4カ所で月例行 事として実施。新規開設は進展なし。	○	・子育てサロン「ひなた」の月例開催。保育所の連携活 動の継続等の活動に加え、身体測定を実施予定。 ・4カ所での「いきいきサロン」の活動継続と内容の改善 による参加者の増加。 ・「挨拶運動」全域啓発(ミニ広報紙で)。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開				
【人口・世帯数】												
13,687人、7,746世帯												
【町内自治会数】												
10町内自治会												
【高齢化率】												
28.0%												
【地域の特徴】												
都賀エリアは、JR都賀駅や千葉都市モノレール沿線を中心に、戸建住宅が多い地域と、賃貸住宅・集合住宅が集まる地域が混在している。エリア全体の高齢化率は約28.0%だが、都賀の台1丁目～4丁目では43.3%と高く、高齢化が特に進んでいる。一方で、駅周辺の利便性や交通アクセスの良さから若い世帯や単身者の流入もあり、多世代が共存する地域特性を持つ。												
あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】									○	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	・一人暮らし見守りの検討。 ・民生委員への協力・連携。 ・安否活動の協力体制検討。	・2自治会で「支えあい活動」が行われているが、効果 的運用面で課題を抱えている。民生委員と自治会との 連携協力が要となるが、地区部会主導は難しいのが現 状。
あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配 布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・千葉市民児協があんしんカードの後期高齢者への普 及活動を実施しており、地区部会の全域活動は中止し ている。 ・緊急通報システム、都賀の台をはじめとする自治会 での普及が進んだ。	○	・「ご近所福祉」を中心とする「見守り活動」の重要性と 見守り手段などを紙面により啓発する。 ・おひとりさまの生活不安を支え、安心電話、緊急通報 システムの利用など見守り手段を広報で啓発。						
あなたもわたしも地域の 2 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑦ 活動団体同士の連携・交流	・自治会と民生委員の協力関係の理解共有。 ・協力の在り方の具体化検討。	・地区部会の組織基軸である民生委員、町内自治会との 連携が薄れつつあり、運営の見直しが迫られている。 住民ニーズを仕組みとする壁は高く、思いやりを繋ぐ街 づくりの一環として捉え、全員参加型のご近所福祉につ いて啓発に引き続き注力する。	△	・ご近所福祉の趣旨と「心を繋ぎ紡ぐ」ことの大切さを、 広報紙「みんな仲間」で啓発。						
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	○	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・みんな仲間を隔月発行。 ・有効な相談ネットの検討。	・地区部会とあんしんケアセンターのミニ福祉祇の隔月 発行で連携して6年になる。 ・広報紙「だんだんばたけ」44号発行。 ・フェイスブック、Instagramでの「ひなたチャンネル」 で毎月情報発信。	◎	・みんな仲間を隔月発行。 ・有効な相談ネットの検討。 ・「高齢者生活不安にどう向き合う」をテーマに、講演会 の開催と、広報活動による啓発。						
必要な情報が行き渡り、 4 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬 体験、意見交換を実施した。 ・ZOOM体制の可能性は未確認だが、ハードルは高い のが現状である。	△	・各委員会等でのZOOM体験。 ・委員会単位でのオンラインでの情報の共有化。 ・ZOOM会議の可能性について検討する。						
世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	○	⑫ 福祉のこころを育む活動の実施	・出前講座の3回実施。 ・みんな仲間で福祉の心に関する啓発(2回)。	・手作り教室2回、手話教室1回開催した。 ・都賀の台自治会館で、出前講座2会開催。 ・ミニ福祉通信「みんな仲間」を隔月6回発行。様々な福 祉テーマを掲載し、全域回覧し、情報の共有に務めた。 ・バスによる研修旅行は、参加希望者数未達で中止。	○	・自治会、あんしんケアセンター、病院、社協や福祉施 設などとのコラボによる福祉講座など開催。 ・ミニ福祉通信「みんな仲間」の読者ニーズに沿った企 画の検討(高齢者の不安と対策等)						
世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例 紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携につ いて考える良い機会となった。 ・ミニ福祉通信「みんな仲間」を格裡を通して、全域的に 福祉知識と課題の共有の一助とした。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、 意見交換等。 ・福祉活動にかかわる有益な情報、資料を活用し、住 民、地域福祉の推進への応用、活用に努める。						

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
結・みつわ台地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・いきいきサロン、子育てサロンについて、開催日程の告知、内容の再考に努める。 ・ふれ合い散歩クラブの新規実施を目指す。 ・併せて告知の方法や内容の充実に努める。	・「第5・第6みつわ台ハイツイいきいきサロン」を年12回、「第4みつわ台ハイツイ支えあいの会く愛の手」年4回それぞれ自治会と共同開催し、実施した。 ・子育てサロン「なかよしサロン」を定期開催。年11回実施した。	○	・いきいきサロン、子育てサロンについて、開催日程の告知、内容の再考に努める。 ・ふれ合い散歩クラブの新規実施を目指す。 ・併せて告知の方法や内容の充実に努める。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
23,458人、11,810世帯								
【町内自治会数】								
43町内自治会								
【高齢化率】								
28.5%								
【地域の特徴】								
千葉都市モノレール「みつわ台駅」を中心に千葉駅や都賀駅方面へのアクセスが良く、路線バスや国道126号・県道66号により公共交通・自家用車ともに移動しやすい。若い世代が多い地域と、みつわ台3～5丁目では高齢化が進むなど地域差はあるが、全体として世代構成はバランスが取れている。	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑤ 活動の中核となれる人材の発掘	・各地域団体との積極的交流の中から、人材発掘につなげる。	・「地域支え合い活動」を実施団体との交流会を実施。活動事例の聴取及び実施の検討を行う中で、人材発掘に努めた。	○	・各地域団体との積極的交流の中から、人材発掘につなげる。	
	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・各地域の活動事例の検討及び情報交換の実施	・「地域支え合い活動」を実施団体との交流会を実施。活動事例の聴取及び実施の検討を行った。	○	・各地域の活動事例の検討及び情報交換の実施	
	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。	
	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑦ 活動団体同士の連携・交流	・町内自治会・スポーツ振興会・青少年育成委員会・地域団体との連携を強化のため、関係団体との意見交換を実施する。	・「地域支え合い活動」を実施団体との交流会を実施。活動事例の聴取及び実施の検討を行った。	○	・意見交換会実施。	
	必要な情報が行き渡り、 気軽に相談しあえる仕組みをつくりましょう	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。	
	世代を超えて、ともに学び 合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携について考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和8年度の目標	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
千城小地区部会エリア	誰もが顔見知り、交流と ふれあいの仕組みをつくり ましょう	○	① あいさつ運動やサロンを活用した ふれあい、機会づくり	・地域ぐるみでの声掛けや挨拶運動を新規2自治会、計5自治会で実施する。 ・ふれあいいきいきサロンを新規1カ所、計4カ所で実施する。 ・未実施のふれあいいきいき散歩クラブについて、実施エリアを検討する。	・地域ぐるみでの声かけや挨拶運動を3自治会で実施した。 ・「ハナワクラブいきいきサロン」、「大宮町親睦会サロン」、「長峰台いきいきサロン」の3つのサロンで、延べ32回実施した。なお、親睦会サロンは年度末で解散。 ・3/23(日)に市都市緑化植物園において、いきいき散歩クラブを実施した。	○	・地域ぐるみでの声掛けや挨拶運動を新規8自治会で実施する。 ・引き続きふれあいいきいきサロンを2カ所で実施する。 ・未実施のふれあいいきいき散歩クラブについて、実施エリアを検討する。	＜第5期計画における区共通の方向性＞ ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
2,331人、1,282世帯								
【町内自治会数】		○	② 健康や介護を通じた関係づくり	・シニア体操(介護予防体操)クラブについて、既存の1カ所を継続実施。 ・未実施自治会等について、実施エリアの検討を行う。	・親睦会において、シニア体操(介護予防体操)を年間を通して実施した。	○	・シニア体操(介護予防体操)クラブについて、既存の1カ所を継続実施。 ・未実施自治会等について、実施エリアの検討を行う。	
9町内自治会								
【高齢化率】		○	③ 公園やサークル活動を利用した交 流機会の創出					
47.0%				・公園等を利用し、グラウンドゴルフ1カ所を開設する。	・10/20(日)に千城小グラウンドにおいて、育成委員会との共催で、親子グランドゴルフを実施した。	○	・公園等を利用し、グラウンドゴルフ1カ所を開設する。	
【地域の特徴】								
大宮町のみで構成されるエリアで、小学校はあるものの児童数は区内で最も少ない。高齢化率は約47%と区内でも特に高い。古くから農業を営む世帯が多く、元気な高齢者も目立つ。一方で、新たに造成された住宅地もあり、幅広い世代が暮らしている。								
	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	共通	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	・配布状況を確認し、カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)。	
	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	⑦ 活動団体同士の連携・交流	・各団体との意見交換会開催の検討。	・千城小地区スポーツ振興会、青少年育成委員会等地域団体と必要な連携・交流を行った。	○	・各団体との意見交換を実施する。	
	必要な情報が行き渡り、 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	○	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・地区部会だよりを年1回発行する。	・地区部会だよりを年1回発行した。	○	・引き続き、地区部会だよりを年1回発行し、地域福祉に関する情報発信に努める。	
	必要な情報が行き渡り、 気軽に相談しあえる仕組 みをつくりましょう	共通	⑪ オンライン活用による情報交流	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・令和6年度第2回推進協において、ZOOM会議の模擬体験、意見交換を実施した。	△	・各委員会等でのZOOM体験。	
	世代を超えて、ともに学 び合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	⑬ 福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。 ・第3回推進協を講演会として開催。多様な連携について考える良い機会となった。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	